

栃木県教育委員会定例会会議録

平成27年7月8日(水)、栃木県教育委員会定例会を栃木県庁南別館内教育委員室に招集した。

1 出席委員は次のとおりである。

1 番 (委員長)	岡	直 樹
2 番	吉 澤 慎	太 郎
3 番	伏 木 由	佳 子
4 番	工 藤	敬 子
5 番	陣 内	雄 次
6 番 (教育長)	古 澤	利 通

2 議事に参与した職員は次のとおりである。

教 育 次 長	金 田	繁 夫
教 育 次 長	金 井	正 誠
総合教育センター所長	長 野	金 市
総 務 課 長	石 崎	隆 治
施 設 課 長	江 連	幸 宏
教 職 員 課 長	軽 部	美 誠
学 校 教 育 課 長	宇 梶	清 隆
特 別 支 援 教 育 室 長	中 田	好 和
生 涯 学 習 課 長	猪 瀬	晃 満
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	塩 澤	信 男
文 化 財 課 長	荷 見	祐 子
健 康 福 利 課 長	伊 藤	惠 治
国 体 準 備 室 長	今 泉	浩 明
総 務 主 幹	入 野	和 修
人 権 教 育 室 長	鈴 木	
児 童 生 徒 指 導 推 進 室 長	赤 羽	
学 力 向 上 推 進 室 長	野 中	
世 界 遺 産 登 録 推 進 室 長	羽 瀬	

3 午前9時30分、委員は全員出席しており、委員会は成立したので、定例会を開催する旨を告げた。

4 委員長は、本日の会議録署名委員に4番工藤委員を指名した。

5 委員長は、本日の議案等のうち、報告5及び第1号議案から第9号議案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(旧法)第13条第6項の規定に基づき、会議を非公開で行いたい旨、各委員に諮ったところ、全委員の賛成により非公開とすることに決定した。

6 委員長は、報告を受ける旨を告げた。

7 報 告

(1) 平成27年度中学校卒業者の進路状況調査報告書について

(2) 平成27年度県立高等学校卒業者の進路状況調査報告書について

委員長は、関連があるので報告1及び報告2について、一括して説明を受ける旨を告げた。

委員長から説明を求められ、総合教育センター所長が説明した。

この報告に関して、委員から質問や意見はなかった。

(3) 平成27年度とちぎっ子学習状況調査の結果(速報)及び今後の取組について

委員長から説明を求められ、学力向上推進室長が説明した。

この報告に関して、委員から次のような質問や意見等があった。

[委 員]

- ・ 2ページ(1)の平均正答率について、今の説明を聞くと、前年度と比較して増減したものはあるものの、問題の出し方の違いで必ずしも暦年の変化を見ることはできないとのことだったが、「基礎・基本」の方が「思考・判断・表現」よりも変化の傾向が見られるということもないのか。

[事務局]

- ・ 問題の回答形式や表現を変えた部分もあり、「基礎・基本」、「思考・判断・表現」のどちらも、正答率がこう変化したとは一概に言えない。

[委 員]

- ・ 小学校4学年と5学年の二学年続けて調査するので、昨年の傾向を踏まえて5学年の出題をしないと、昨年からの変化が読み取れないように思われるが、その点は踏まえているのか。

[事務局]

- ・ 5学年の指導内容もあるので、明確に昨年を踏まえてというわけにはいかないが、例えば、前の学年で「理由を書きなさい。」という問題ができていなかったときに、そういった問題を多めに出すという形の対応はしている。

[委 員]

- ・ せっかく二年連続で調査するのであれば、この後の指導のことも考えれば、全体として見て取れるような形にしていくべきではないかと思う。

[委 員]

- ・ 4ページのテレビやDVDの視聴時間について、1日2時間以上という子どもが各学年とも5割を超えている。テレビやDVDを否定するわけではないが、これに割く時間と勉強する時間はどうしても反比例する。
- ・ 幼少期に培われたライフスタイルの影響が大学生にも及んでいるとい

うのがここ数年の実感で、授業中もスマホをずっと見ているような状態である。

- ・ 学校だけでなく家庭での教育もどうにかしていかないといけないと結果をみて思ったところである。

〔委員〕

- ・ 5ページで「むずかしい問題にであうと、やる気がでる」という子どもが増えたのはよい傾向だと思う。この要因について、このテストをやることによってなのか、あるいは何かの取組をしているのか、など、どのように考えているのか。

〔事務局〕

- ・ このテストの結果を生かすため、学力向上アドバイザーを3年計画で全ての学校に派遣することになっている。既にアドバイザーが派遣された学校では、授業の改善に取り組んでおり、同じような簡単な問題を繰り返すだけでなく、難しい問題に取り組むことも行っているが、そのようなことがこの数字にも表れているのではないかと考えている。

〔委員〕

- ・ 学力向上アドバイザーの派遣の効果は出ていると思うのでよいと思う。
- ・ 前の学年でつまづいたところのフォローをして、学力は上がっていくものだと思うので、是非その点をお願いしたい。

〔委員〕

- ・ 小学校1年生に入学した時のスタートラインは一緒であり、このまま全員学力が向上できるようになる環境にならないものかと考えるのだが、様々な問題で家庭での学習ができない環境の子どももいると思われる。
- ・ 小学校のつまづきが就職できない程のつまづきになっていってしまうことを考えれば、塾や家庭学習ができない子どもたちをどうするのか、例えば小学校レベルであれば大学生の活用を考えるなど、もっとできることはないのかと考えていくことが今後の課題ではないかと思う。

〔事務局〕

- ・ 外部人材を活用して学力の向上を図るのは、それぞれの市町で様々な取組をしているところだと思うので、それを把握して、県としてできることを考えていきたい。

〔委員〕

- ・ 4ページで、携帯電話やスマートフォンでメールやインターネットを1日2時間以上する子が、中学校2年生の場合5人に1人となっている。
- ・ ネットいじめなどの問題を考えれば、これは好ましい状況ではないので、もっと親や子どもたちに働きかけて、携帯電話を持たない方向にもっていけないものかと思う。

〔委員〕

- ・ 一人ひとりの1日の時間の使い方を調べることはできないのか。DVDを見て、スマホをいじって、宿題して、部活して、何時間寝ているのかというのを見てみたい気がする。調査をすれば、この使い方はもったいないとか、もっと寝ないと駄目だといったことも出てくるのではないかと思う。

〔事務局〕

- ・ 一人ひとりの24時間を調べるのはなかなか簡単なことではないが、どのような調査ができるか考えていきたい。

〔委員〕

- ・ 生活サイクルの指導は必要であると思う。

〔委員〕

- ・ スマホのない時代を生きているわけではないので、大人になったときに自分で時間をコントロールできるようになるために、生徒会などで、このままでよいのかを考え、自分たちでルールを作るなどの機会を与えていければよいと思う。

〔委員〕

- ・ 大賛成である。幼少期からきちんと教えないといけないと思う。

〔事務局〕

- ・ 昨年度、「時間の使い方を工夫しましょう。」という保護者向けのリーフレットは作成して配布したのだが、今後、子どもたちの中からの取組を促していく必要はあると思う。

(4) 平成26年度県立特別支援学校中学部及び高等部卒業者の進路状況について

委員長から説明を求められ、特別教育支援室長が説明した。

この報告に関して、委員から質問や意見はなかった。

8 委員長は、報告5及び第1号議案から第9号議案については、先の決定のとおり、会議を非公開で審議する旨を告げた。

9 委員長は、報告5について説明を受ける旨を告げた。

(5) 栃木県文化財保護審議会に対する諮問について

委員長から説明を求められ、文化財課長が説明した。

10 委員長は、審議に移る旨を告げた。

11 第1号議案 栃木県立美術館評議員会委員の任命について

第1号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。

- 12 第2号議案 栃木県立博物館協議会委員の任命について
第2号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 13 第3号議案 栃木県産業教育審議会委員の任命について
第3号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 14 第4号議案 栃木県生涯学習審議会委員の任命に関する教育委員会の意見に
ついて
第4号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 15 第5号議案 栃木県社会教育委員の委嘱について
第5号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 16 第6号議案 栃木県立図書館協議会委員の任命について
第6号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 17 第7号議案 栃木県立足利図書館協議会委員の任命について
第7号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 18 第8号議案 栃木県スポーツ推進審議会委員の任命について
第8号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 19 第9号議案 学校職員の懲戒処分について
第9号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 20 委員長は、以上で本日の会議を終了することを告げ、午前11時8分、閉会
した。